

こんにちは

白子の議会

です

第151号

令和6年2月15日

編集発行

千葉県白子町議会

☎0475(33)2169

主な内容

- 👉 議員の紹介 2~3ページ
- 👉 6議員が一般質問 4~9ページ
- 👉 補正予算等の質疑応答 10ページ
- 👉 こんなことが決まりました 11ページ

町立3保育所では年に数回、地震や津波に備えた避難訓練を実施しています。

能登半島地震のニュースを見聞している園児たちは、いつもより真剣な眼差しで先生方の指示に従いながら行動していました。

震災を無くすことは出来ませんが、被害を少なくすることは誰にでも出来ると思います。

園児たちのように日頃から訓練し、防災意識を高めましょう。

第18回議員の紹介

厳しい選挙戦を勝ち抜き、晴れて町議会議員となった新議員のプロフィールや決意を載せますので、今後も叱咤激励のほどよろしくお祈りします。



議席番号 8番 議長

氏名 梅澤 哲夫
 自治区 北高根西
 期数 4期

決意

今、皆さんが困っている日々の買い物、その不便改善のため、各分野の人の意見協力を求め改善します。



議席番号 7番 副議長

氏名 大多和 正夫
 自治区 関北
 期数 2期

決意

子育て支援対策を二歩先に進め、子育て世代から高齢者まで安心して暮らせる活気あふれる白子町を目指します。



議席番号 14番

氏名 市川 隆子
 自治区 古所西
 期数 9期

決意

子育て支援、高齢者福祉などくらしと福祉を守るために力を尽くします。特に小・中学校給食費の無償化を実現！



議席番号 13番

氏名 大多和 秀一
 自治区 関南
 期数 8期

決意

「明日へ」今できる事、すべき事を着実に！お互いを尊重し、共に支え合う町づくりを進めます。



議席番号 12番

氏名 大多和 正之
 自治区 鷺西
 期数 7期

決意

「未来への責任」共に創るふるさと白子町の希望あふれる未来を切り拓く！



議席番号 11番

氏名 今関 勝巳
 自治区 古所西
 期数 6期

決意

今、町では色々な問題を抱えています。これらの問題解決に取り組んでまいります。



議席番号 10番

氏名 酒井 良信
 自治区 刺金東
 期数 5期

決意

閉塞感が漂う今の白子町を、希望にあふれた明るい町となるよう町民のために議員一丸となって取り組みます。



議席番号 9番

氏名 宗島 理仁
 自治区 南川岸
 期数 4期

決意

安心して住み続けられるための防災対策、夢や希望が持てる子育て施策、その先頭に立って頑張っていきます。



議席番号 6番

氏名 今井 滋則
 自治区 牛込東
 期数 2期

決意

買い物弱者対策について真剣に取り組み、一日も早くこの深刻な問題を改善します。



議席番号 5番

氏名 長島 誠一
 自治区 刺金西
 期数 1期

決意

町民目線での行動、人口減少により議員数の削減に努力します。



議席番号 4番

氏名 高山 隆一
 自治区 関西
 期数 1期

決意

白子町の地域産業振興発展のため、あらゆる手段を模索し、尽力してまいります。



議席番号 3番

氏名 秋葉 広行
 自治区 牛込中
 期数 1期

決意

キラリと光る白子町をつくりましょう。守るべきは守り、変わるべきは拓く！



議席番号 2番

氏名 前田 充浩
 自治区 関東
 期数 1期

決意

「小さな声を大切に」、住んで良かったと実感出来る町づくり、そして、少子高齢化対策に全力で頑張ります。



議席番号 1番

氏名 大塚 貴充
 自治区 鷺東
 期数 1期

決意

白子の皆様に一礼。町づくりは知の結集です。和を大切に、町づくりに取り組んでいく所存です。白子町万歳。

令和5年11月19日(日)、任期満了に伴う白子町議会議員一般選挙が行われ、新たに14人の町議会議員が選ばれました。

令和5年12月11日(月)、新しい14人の議員での令和5年第4回白子町議会定例会が開催され、議長を始めとした新しい議会構成が決まりましたのでお知らせします。

町民に開かれた議会として新体制がスタート

議長

梅澤哲夫

副議長

大多和正夫

議会運営委員会

委員長 今関勝巳
副委員長 大多和正之
委員 大多和秀一
委員 酒井良信
委員 宗島理仁
委員 今井滋則

長生郡市広域市町村圏
組合議会議員

梅澤哲夫
酒井良信

一宮聖苑組合議会議員

市川隆子

千葉県後期高齢者
医療広域連合議会議員

大多和正夫

監査委員

大多和秀一

各常任委員会の構成

総務常任委員会

委員長 大多和秀一
副委員長 長島誠一
委員 今関勝巳
委員 酒井良信
委員 宗島理仁
委員 大多和正夫
委員 秋葉広行
委員 大塚貴充

総務課、企画財政課、税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、議会事務局の所掌に属する事務、また、他の常任委員会に属しない事務の審査及び調査を行います。

厚生文教常任委員会

委員長 大多和正之
副委員長 大塚貴充
委員 市川隆子
委員 宗島理仁
委員 大多和正夫
委員 高山隆一
委員 秋葉広行
委員 前田充浩

住民課(保育所)、健康福祉課、環境課、教育委員会(教育課・生涯学習課・学校給食センター)の所掌に属する事務の審査及び調査を行います。

産業建設常任委員会

委員長 今井滋則
副委員長 前田充浩
委員 市川隆子
委員 今関勝巳
委員 酒井良信
委員 梅澤哲夫
委員 長島誠一
委員 高山隆一

産業課、商工観光課、建設課、農業委員会、ガス事業所の所掌に属する事務の審査及び調査を行います。

明るくなった議会議場



昭和55年に役場が建築されてから40年以上が経過し、議会議場は雨漏りや電球の玉切れなどで老朽化が目立っていました。

この度、役場庁舎のLED化と屋上防水工事を実施したため、議会議場の天井が綺麗になり、LEDで非常に明るくなりました。

リニューアルされた素晴らしい環境の下での、新たな議員14人の活躍をご期待ください。



令和5年12月11日(月)から13日(水)までの3日間で、令和5年第4回白子町議会議定例会を開催しました。

本会議では、承認1件、同意1件、議案11件、発議案1件が上程されました。一般質問では、6人の議員が町政を質しました。



※議会だよりの一般質問は議員作成の原稿を基に作成しています。詳細は町ホームページ(右のQRコードでご覧いただけます)でご確認ください。

迷惑防止条例の 制定について

9番 宗島 理仁

議員



議員 白子町でも多くの観光客やテニスを利用する学生の姿が戻ってきていると感じています。

それに合わせて、町でも民泊や貸し別荘などを利用する人が増え、一部の利用者で朝方までバーベキューをし、さらに音楽を流して騒いでいるために、近隣住民とのトラブルになってきているケースが多々あります。

このような状況を踏まえ、町独自で迷惑防止条例を制定する必要があり、制定することで、事例が発生した場合には、関係者が注意を促すためのよりどころとなると思います。

まず、町において、民泊や貸し別荘等の利用者によるバーベキューや花火等の騒音やごみ問題について、どのよう把握、対応されているのか。

次に、現在の白子町の状況を見ても、一宮町と同様に迷惑防止条例の策定に向け取り組むべきだと思います。

早期の制定に向けて

町長 本町においても民泊施設があることは認識しており、これに伴う騒音対策の申し出もあることが現状です。

対策として、騒音等の申し出を受け、民泊施設の所有者に対し注意喚起を行っておりますが、所有者と利用者が違うことから注意喚起が行き届かないところがあります。

一宮町では、迷惑防止条例が制定されたということで、本町においてもこの条例制定は当然考えております。

できれば早い機会に制

定したいと思っております。

騒音問題以外にも

議員 一宮町の迷惑防止条例を見ますと、騒音以外にもごみの放置や飼い犬のふんの放置、歩行中または自転車の乗車中に喫煙の禁止、法令に基づくもの以外での屋外における廃棄物の焼却行為の禁止が盛り込まれています。

白子町では、白子町環境美化推進に関する条例により、飼い犬のふんを適切に処理しなければならぬとされていますが、罰則規定はなく、飼いが、罰則規定はなく、飼いが入っていません。

また騒音に関しても、公害防止条例で、午後十一時から午前六時まで騒いではいけないとされていますが、その対象者は民泊等が含まれておらず、曖昧です。

このように、一つ一つを見ても、各条例が現状に合わないものばかりです。

迷惑防止条例策定に当

たつては、町の条例を整理し、責務を明らかにすることを目的としたものにすべきかと思いますが、これら問題を含めて策定する予定があるのか伺います。

現状に即した条例とするために

環境課長 白子町公害防止条例、白子町環境美化推進に関する条例におきまして、一部において改善を命ずることができるとされていますが、罰則は設けられていないのが現状です。

現状の条例だけでは対応できないとのことから、新たに迷惑防止条例を検討し、制定したいと考えております。



人口減少抑制対策と 子育て支援対策について

7番 大多和 正夫 議員



議員 町の人口は平成7年の13,238人をピークに減少傾向にあり、本年10月末では10,644人です。町の将来人口予測では令和22年には6,351人と見込まれています。

また、高齢化についても団塊の世代が後期高齢者となる令和7年には高齢化率は45.2%と予想されます。このような状況の中、人口減少抑制に向けた最も重要で最優先の施策は何かを伺います。

子育て支援策の 充実強化が喫緊の課題

町長 近年の人口増減は、社会増減による転入・転出はほぼ均衡を保っております。一方自然増減は、出生に対して死亡が大幅に上回っています。人口減少を抑制す

るためには転入者を増やし、子育て支援施策や高齢者の健康寿命の延伸など、多世代にわたる総合的な取り組みが必要です。その中、子育て支援策の充実で強化が喫緊の課題と考えています。

子育て支援策を二歩先に

議員 現在我が町では、唯一のスーパーが撤退し、「駅が無い」「国道が無い」「三無い」町になり、生活環境は決して良好とは言えません。この「三無い」町を逆手に、スローガンを作成し子育て支援へのイメージアップを図り子育て支援にむけて、住環境面・支援対策面とも千葉県一と言われるような施策が必要と思われるます。

住環境面における子育て支援の一環として、津波避

難施設の築山を普段は子供達がグラススキーなど自由に遊べる場、子育て中の親同士の交流の場として、公園的要素を導入する考えがあるかを伺います。



津波避難施設の築山

総合的な町づくり にむけて検討する

町長 子育て支援対策として、親子の交流の場の提供は必要な施設と考えています。今年度、健康増進事業の一環として、ベンチを三基ずつ設置しました。

子供の遊び場として遊具の設置になります。現在協議中の小学校統合

の関係で廃校になれば校庭も公園として利用可能な事になると思われます。今後、総合的な町づくりに向けて検討する必要があります。と

学校給食費の無償化 に向けて

議員 現在小中学生の保護者の給食費負担額は、大まかに3,750万円と思われま。す。(小学生395人・中学生228人)

郡内においても、長柄町、長南町は給食費無償化を実施しており、九十九里町では本年12月の補正予算で実施することです。

本町も第三子は無償であり、第一・二子の給食費の50%相当額の支援の考えがあるかを伺います。また、無償化に向けた考えがあるかを伺います。

政府のことも未来戦略 を見極めた上で検討

町長 本日会期末を迎える臨時国会の会期中、衆

議院予算委員会の席上、岸田総理は12月末までに必ず「子ども大綱」を策定すると明確に答弁しました。

町として、「子ども大綱」と同時期に示される「子ども未来戦略方針」の内容を確認し政府が掲げている具体的方策を見極めた上で、今後の対応を検討すべきと考えています。

その他の質問として、
らからくタクシーの利用範囲の拡大について
高齢者の生きがいづくりの取り組みについて
高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるような、「地域見守り隊」的な組織育成の取り組みについて
コンプライアンスマニユアルに係わる緊急時の組織態勢について
自治会からの過去3年間の要望件数と未実施件数について伺いました。

旧スーパーハヤシ付近の
現状と今後について

12番 大多和 正之 議員



議員 旧スーパーハヤシ付近の現状と、今後のスーパー再開についての見通しと、11月25日に県道茂原白子線、白子バイパスの事前説明会が開催され3工区開通見込みは、用地が決まり10年ぐらいかかるのではないかです。今後のまちづくりを進める上で白子バイパスの開通は非常に重要なものであり、事業主体は千葉県ですが、早期開通には地元の白子町の協力が必要不可欠であると思いますので、町の今後の協力体制を伺いたいと思います。

出店交渉を行って
いるのが現状

町長 現在もナリタヤさんと出店交渉を行っているのが現状です。
第3工区が10年かかる

と開通に30年かかる計算になるので、第3工区を5年のスパンで考えていただき強力に進めます。

3工区整備計画(案)について(白子町 福島~五井 間)

重要案概要



ごみステーションの
設置基準について

議員 ごみステーションの設置基準と運用基準はどのようなになっているか、公共施設にごみス

テーションを設置の考えがあるか伺います。

いい意見だと思いま
すので、検討課題

町長 設置許可基準はあくまでも原則であり、協議を行い、広域組合で許可がされた箇所は新たに集積所を設置してあります。

激甚化している災害
対応について

議員 9月8日の台風13号の影響で町内の至る箇所まで道路冠水、排水路からのオーバーフローが見受けられましたが、激甚化している災害は、線状降水帯暴風雨などあります。

4年前、白子町でも数日にわたり停電しましたので、排水機場に予備電源を設置する考えがあるか伺います。

長生村と連携し早期
完成

町長 24時間雨量が324.5ミリで想定を超えた大雨となり浸水被害が発生しました。県営湛水防除事業(一松地区)長生村と連携し早期完成に努め、排水被害の防止を図ってまいりたいと思います。

制服・学用品のリ
ユースについて

議員 保育園や小中学校の学用品も含めて、制服リユースの仕組みをつくられないか、必要なときに探しに行ける拠点があり、行政、ボランティアと連携し、白子町独自のリユース事業を行えないか伺います。

学校と今後相談

か伺います。

教育長 小学校から中学校へ入学する場合、経費の負担もございますので、学校の状況や保護者のニーズを把握しながら、学校と今後相談をしていきたいと考えております。

中学校と教育委員会で相談をしながら、リユースということで検討していければと思っております。



一時貸し出し用の制服

空き家の利活用について

10番 酒井良信 議員



議員 10年ほど前に空き家調査を実施し、実態把握をされましたが、現在ではどのような状態になっているか、実態を把握されているか伺います。

苦慮している

町長 空き家バンクで移住・定住促進に取り組んでいますが、物件の掘り起こしに苦慮しています。

不動産業者との連携を

議員 実態把握のため再度調査が必要なのではないかと思いますが、不動産業者との連携を図り、空き家の利活用を推進する考えがあるか伺います。

協定を締結済み

企画財政課長 既に複数の不動産業者と協定を締結済みで、建設課で空き家調査に取り組む予定です。

お試し住宅の利活用について

議員 コロナ禍により受付を中止していたお試し住宅の利活用の状況を伺います。

地域おこし協力隊の住宅として利用

町長 再開を検討していましたが、様々な制約の中で継続することは難しいと判断し、地域おこし協力隊の住宅として利用することとしました。

個人専用で良いのか

議員 移住体験事業で国の補助金を活用したお試し住宅を、個人専用にしても良いのか伺います。

問題ない

企画財政課長 変更前に問題ないと確認しています。また、地域おこし協力隊員の居住は最大で3年程度の任期中となります。



お試し住宅の現状

移住・定住受け入れ体制の整備について

議員 県では移住支援センターや移住・二地域居住連絡会議を設置し、積

極的に移住・定住を促進していますが、町ではどのような受入れ体制が整備されているか伺います。

各課と連携を図りながら

町長 企画財政課が主な担当です。移住・定住の相談は多岐にわたりますので、各課等と連携しながら対応しています。横の連携もしっかりとし、1階の窓口各課でも工夫をしています。

町有地(南白亀保育所跡地)の利活用について

議員 地籍調査を終了し、測量図も隣地境界も明確になった南白亀保育所跡地の利活用についての考えを伺います。

整備・利用したい

町長 若者定住用の住宅用地として整備、利用したく、令和6年度当初予算で設計費等を計上したいと思います。

今後の見通しは

議員 防火水槽の撤去の問題、一般貸出しでの駐車場利用等で整備が進んでいないようですが、今後の見通しを伺います。



南白亀保育所跡地の現状

住宅用地で整備したい


総務課長 防火水槽は、広域事業で今年度中に撤去される予定です。

企画財政課長 駐車場利用は令和6年度中に契約満了を迎える見込みで、若者定住用の住宅用地を整備できればと考えます。

1 令和5年度事業の進め方について
 ① 美しいまちづくり推進事業について
 ② 町主催事業・後援事業について

2 白子町補助金適正化ガイドラインについて

13番 大多和 秀一 議員




令和5年度に取り組みました事業の在り方について、今後の方向性を含めて2項目、白子町補助金適正化ガイドラインの在り方について伺いました。

美しいまちづくり推進事業として整理をすべき

議員 美しいまちづくり事業として、町内約1.7haの畑にヒマワリ、コスモスなどを植栽し、美しい景観を創り出す事業、この他にも県道30号線古所・五井地区に設置されている路側帯にある花壇の管理や白子中学校通りにある緑地帯の管理、それぞれが異なる所管で行われています。

事業の状況を踏まえると、同一所管にした方が効率性、統一性が計れると考えるが、この在り方について伺います。

統一性をもって対応したい

町長 今年度から花の広場の管理等を環境課へ所管替えをし、美しいまちづくりの推進を図りました。以前から設置されている美しいまちづくり推進委員会を活用し、花の種類や播種の時期等を協議して進めています。

県道30号線の海岸沿いの緑地帯については、商工観光課が所管、白子中学校通りの緑地帯については、生涯学習課が所管となり進められています。統一をさせて主管課を決めて取り組んだ方が良いと思いますので、検討していきたいと考えています。

所管は生涯学習課



所管は環境課

後援事業の判断は？ 主催事業の立ち位置は？

議員 町が行う主催事業、後援となる事業、それぞれで関わり方が異なりますが、その在り方について伺います。

規則・規定の定めるところによって

町長 原則として、各課で作成する事務分掌に記載してある事務事業については、町主催となりま

す。また、後援や共催については、白子町後援名義使用承認取扱規則及び行事の共催及び後援に関する規定が制定され、ルールが決められています。

この規則、規定の定めるところにより、事業内容等が基準となる要件を満たしていること認められた場合、後援または共催する事務事業となります。

主催事業 イニシアチブは町が

議員 ふるさと白子祭など本来町が行うべき事業をその精度を高めるために委託という形で進められています。そのイニシアチブ（主導権）は、町がすべきだと考えています。中には、所管をひとつにして、そこからの連携機能の必要性を感じますが、見解を伺います。

協議をして検討

企画財政課長 ふるさと白子祭は町が主催すべき事業です。これについて

は協議を進めてみたいと思います。

町が推進する事業は対象経費に

議員 白子町補助金適正化ガイドラインで、対象外となっている視察に伴う経費について調査したところ、多くの自治体の判断に差異がありました。町が推進する事業であれば対象経費として判断すべきという意見がある中で、町の見解を伺います。

現時点では見直しをしない

町長 長期的な社会経済情勢の変化や、国・県の政策の方向性や、法令の改正等による行財政運営方法の変更が生じた場合に、ガイドラインの見直しが必要になるかもしれませんが、現時点では見直しを検討する予定はありません。

地域公共交通の すすめ方は

14番市川隆子 議員



議員 地域公共交通について3点伺います。

①高齢化が進み、免許証の返納や通勤・通学などで町民の利便性向上のためには、いろいろな立場の方々と協議し、住みやすいまちづくりを進める必要があります。

町では法定協議会で議論されていると思いますが、現在の状況を伺います。

②法定協議会を進める中で、現在、地域公共交通のサービスが空白になっている地域を無くすことだと思いますが、今後の進め方を伺います。

③らくらくタクシ事業は、開始から2年半が経過しており、多くの町民が利用しやすいよう改善していかなければならないと思いますが、考えを伺います。

計画策定に向け協議中

町長 ①地域公共交通活性化協議会は令和4年度に設置し、今後、計画策定に向けた協議会を2回程度、分科会を1回開催する予定です。

②今後の予定として、実施したアンケートのデータ分析及びニーズの把握を行っており、2月頃に計画の素案を公表し、パブリックコメントを行い、3月中に策定となる予定です。

③らくらくタクシは交通弱者の支援策の一つとして、他の交通ネットワークとの調整や、町内の交通事業者との合意形成を図りながら、在り方を検討し、利便性向上に努めていきます。

町営住宅の現状は

議員 町営住宅は、被災者、高齢者、子育て中の家庭など居住の安定の確保が図られることを旨として行わなければならないとされています。

町では現在、中富住宅と古所住宅があります。現在の状況と入居状況を伺います。



空室となっている古所住宅

空室は入居者募集する

町長 中富住宅は、昭和44年45年に計14棟が建築され、入居者が退去された9棟を取り壊し、現在

5棟5世帯8人が入居中です。

古所住宅は、昭和59年に3棟、6世帯入居可能な建物が建築され、現在2棟4世帯5人が入居中です。空室となっている1棟2世帯分は、雨漏り等の修繕を要するため、修繕が終わり、準備が整い次第で入居者募集を行う予定です。

自転車用ヘルメット 購入に補助を

議員 自転車の事故で最も多いのが頭部のケガだそうです。改正道路法の施行により、自転車利用者へのヘルメット着用が努力義務となりました。

県内でも補助をしている自治体がありますが、自転車利用の町民を守るため、中学生も含めて補助する考えがないか伺います。

検討する

町長 近隣でも補助を検討しているという情報も

ありますので、県の情報、近隣自治体の動向を調査確認しながら、助成の検討を進めていきたいと考えています。

マイナ保険証トラブル 町の状況は

議員 マイナ保険証に他人の情報が誤って登録された事例が多くあると報道されていますが、町の状況を伺います。

確認されていない

町長 県から点検依頼を受け、突合作業による再点検を実施しましたが誤登録は確認されていません。



補正予算等に対する質疑

白子町企業版ふるさと納税
基金条例の制定について

議案第6号

〔大和多秀一 議員〕

議員 白子町企業版ふるさと納税は、地方創生事業の推進に関わる事業に充てるとありますが、具体的にはどのようなものを指すのか伺います。

企画財政課長 企業版ふるさと納税制度については、地域再生計画に記載されている地方創生事業に使用するという規定があります。

- 白子町では、この地域再生計画に規定されているのは、4事業あります。
- ① 住んでみるなら白子町に関する事業
 - ② 元気で働くなら白子町に関する事業
 - ③ 結婚子育てするなら白子町に関する事業
 - ④ 未来をつくるなら白子町に関する事業

具体的には相当数なものがありますが、これらに充当できるといふことになっていきます。ホームページ等で内容を公表し、事業者の募集をしているところです。

白子町役場庁舎照明LED
改修工事請負契約の変更について

議案第7号

〔酒井良信 議員〕

議員 当初入札金額より相当補正金額が増額されていますので、金額が妥当かどうか伺います。

企画財政課長 出来高に応じて増額の設計をしたものです。

議員 追加費用に関してはこれから先もあると思いますが、なるべく差額が出ないように今後の対応を伺います。

企画財政課長 工事の種類によって設計変更等はどうしても伴いますが、十分に精査しますが、若干差異が出てくる場合

がありますので認識いただきたいと思えます。

〔大和多秀一 議員〕

議員 事業を進めるにあたり、不測の事態等が発生した場合、どのような協議を経て変更されていくのか伺います。また、変更された内容について伺います。

企画財政課長 建設工事については、建設工事請負契約約款に当然変更の規定もありませんが、施工管理の業務も行っています。職員では分からないところもありますので、専門的知見からのチェックをしてもらっています。不測の事態の場合、指導支援をいただくことになっており、それらを根拠としています。

今回597万円余りの追加工事となりますが、アスベスト処理の他エレベーター塔屋の防水工事が追加になります。更に機械電気類については、実際の施工数量の増減に伴っての変更となります。

令和5年度白子町一般会計第4回歳入歳出補正予算について

議案第8号

〔宗島理仁 議員〕

議員 解体工事費における休養施設の跡地利用の5千万円について、当初予算1億2千万円組んでいましたが、補正で新たに5千万円を組む理由を伺います。

5千万円という金額は少なからず大きい金額です。

検討委員会が立ち上がるまでのこの期間は、やはり丁寧に説明をしてほしいと思えますが、見解を伺います。

企画財政課長 現下の様々な物価上昇に伴い、人件費の増、燃料費、資材価格の高騰に伴いまして、当初予定していた金額を大幅に超過し、今回5千万円の追加を予算計上しました。

情報提供が遅れているのは事実だと思えます。その辺については、議員

を委員とした振興審議会を通して説明していきたいと思えます。

〔大和多秀一 議員〕

議員 旧国民宿舎白子荘の解体工事費の増額の財源と、次年度へ繰り越す理由を伺います。

企画財政課長 解体工事費の財源については、公共施設等整備基金を繰入します。解体工事の工程については、6月1日に設計業務を開始し11月30日に終了しました。この後一般競争入札で解体請負事業者を決定することになる訳ですが、年度内の完了は殆ど不可能になることから繰越明許費となるものです。

併せて解体工事の監理業務委託料、アクア健康センターの躯体調査委託料、アクア健康センター改修のための基本設計委託料、総額で2億70万円を繰り越すこととなります。

令和5年度白子町ガス事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について
議案第11号

【大多和正夫 議員】

議員 特別損失に消費税修正申告153万9千円が計上されていますが、どのような状況で発生したのか伺います。

ガス事業所長 当初消費税申告時に国のガス補助金について国から特定収入に入らないとの通知がありました。8月に国よりこの補助金は特定収入に該当するとの通知があり、消費税の修正申告を行い、8月に納付しました。

議員 損益計算の中で3月の年度末予測で事業利益が394万円の見込みです。

本年は暖冬が想定されていますが、最終的にこの事業利益見込みは、上振れるのか、下振れるのか、所長の判断を伺います。

ガス事業所長 現在の状況では、暖冬ということ。でガスの消費量は伸び悩んでいます。

3月議会で承認をいただいた約20円の値上げと補助金もありますので、事業利益見込みは少し上振れると予想しています。

こんなことが決まりました

【承認第1号】
専決処分事項の承認を求めることについて（損害賠償の額の決定及び和解について）（承認）

【議案第1号】
白子町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第2号】
白子町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第3号】
白子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第4号】
白子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第5号】
白子町手数料条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【議案第6号】
白子町企業版ふるさと納税基金条例の制定について（可決）

【発議案第1号】
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

※その他は、広報しらこ1月号やホームページをご覧ください。

こんなことがありました

令和5年第1回臨時議会

令和5年11月1日に役場議場で令和5年第1回臨時議会が開催されました。会議では、9月8日に襲来した台風13号の影響による大雨や落雷で被害を受けたことへ、補正予算で災害対応することについて審議され、質疑応答の結果、原案のとおり可決されました。

議案第1号の令和5年度白子町一般会計第3回歳入歳出補正予算について、大多和秀一議員から質疑がありました。

また、議案第2号の令和5年度白子町コミュニティプラント事業特別会計第1回歳入歳出補正予算について、大多和正之議員と齋藤鉄也議員から質疑がありました。

なお、詳細については町議会ホームページをご覧ください。

第1回白子町「夢・挑戦」子ども議会開催

令和5年11月28日に第1回白子町「夢・挑戦」子ども議会が役場議場で開催されました。

子ども議会は、町内の各小中学校から4名ずつ計16名が選出され、子ども議員として白子町のまちづくりの提案を行いました。大人の議員や町長も驚くほど元氣よく堂々としていました。

子ども議会の様子は3月31日まで、こちらをご覧ください。



議員協議会を開催

1月23日に令和6年第1回白子町議会議員協議会を開催しました。

小学校適正配置等検討委員会からの答申、健康福祉課所管の各種計画、商工観光課所管の計画、外部人材の活動報告等について説明を受け、質疑しました。



新人議員勉強会を開催

1月24日と25日の2日間、昨年の一般選挙において初当選した新人議員の勉強会を開催しました。役場の各課等が所管する事務事業について、担当者等から概要説明を聞き、疑問点には積極的に質問しました。

3常任委員会を開催

令和5年度事務事業の執行状況や令和6年度当初予算の概要についての説明を受け、質疑応答がありました。

産業建設常任委員会

1月29日に産業課、商工観光課、建設課、農業委員会、ガス事業所の所掌に属する事業について説明を受けました。

厚生文教常任委員会

1月29日に住民課、健康福祉課、環境課、教育委員会の教育課、生涯学習課、学校給食センターの所掌に属する事業について説明を受けました。

総務常任委員会

1月31日に総務課、企画財政課、税務課、会計課、議会事務局の所掌に属する事業について説明を受けました。

関谷教授の講演を受講

1月30日に千葉大学大学院社会科学研究院の関谷氏による講演会が役場であり、議員研修の一環として受講しました。まちづくり全般に対する経験を踏まえた内容で、今後の白子町のまちづくりにも非常に大事な視点が含まれていました。



まちづくり講演会



編集後記

令和6年1月1日、石川県能登半島を震源とする地震により、甚大な被害が発生しました。

この地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

自然災害はいつ起こるか分かりません。私たちも町とともに、災害に対する備えや、避難する際に配慮を必要とする方々への支援、避難ルートの確認など命を守るための周知の必要性を日頃から考えておかなければならないと思っております。

さて、今号の紙面はいかがでしたか。昨年行われた町議選により、議会広報委員会も委員の入れ替えがあり、新しい委員が3名加わりました。

これから4年間、このメンバーでより読みやすい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

市川隆子

新しい議会広報編集委員が決まりましたので紹介します。今後ともよろしくお願いたします。

(右から)

- 委員 秋葉 広行
- 委員 市川 隆子
- 委員長 市川 隆子
- 委員 大和和秀一
- 委員 大和和正之
- 委員 宗島 理仁
- 委員 大和和正夫
- 委員 今井 滋則
- 委員 大塚 貴充
- 副委員長 前田 充浩

